

稲沢市中小企業振興基本条例の目的および基本理念



目的

条例（第1条）

この条例は、中小企業の振興について、基本理念を定め、市の責務及び中小企業者等の役割等を明らかにするとともに、中小企業の振興に関する施策の基本方針等を定め、これを総合的に推進することにより、地域経済の持続的な発展及び市民生活の向上に寄与することを目的とする。



基本
理念

条例（第3条）

中小企業の振興は、次に掲げる事項を基本理念とし、これに基づき推進されなければならない。

- (1) 中小企業者の創意工夫及び経営向上に対する自主的な努力が尊重されること。
- (2) 中小企業者が地域経済の持続的な発展及び市民生活の向上に重要な役割を果たしていることと認識すること。
- (3) 経営資源（設備、技術、知識、技能その他の事業活動に活用される資源をいう。以下同じ。）の確保が困難であると認められる小規模企業者に対して、その経営の規模及び形態を勘案し、事業の持続的な発展に向けた配慮がされること。
- (4) 中小企業者、市、中小企業団体、支援機関、大企業、金融機関、教育機関及び市民が相互に連携及び協力すること。
- (5) 自然環境、地域産品、人材、技術その他本市が有する地域資源を総合的に活用すること。

稲沢市中小企業振興ビジョン2025



活気ある中小企業で魅力あふれる豊かなまちづくり

～みんなでつくる地域内経済循環～

中小企業は、日本の企業の99.7%を占めています。稲沢市においても、地域経済循環を支え、人材育成や雇用創造で大きな役割を果たしています。

その役割と重要性を理解し、中小企業の振興を通じて、稲沢市を住んでよし、働いてよし、訪れてよしの魅力あふれる豊かなまちとしていきます。

1. がんばる中小企業者・小規模企業者を積極的に支援。

地域の経済や社会を支えているのは、地元の中小企業や小規模事業者であるということを、各々がしっかりと自覚しそれに向かって努力することです。

社会情勢や経済情勢の変化に対応して、事業の継続、発展を図るための自主的な努力を尊重した上で、積極的な支援を行います。

また、新製品や新技術を開発する取組（アイデアの発信）、他分野と連携した取組、自然環境や農業等の地域特性を生かした取組等、新たな挑戦を支援します。

2. 稲沢市民の認識と理解

雇用を守り、地域のために頑張っている稲沢市の中小企業や小規模事業者を、地域の皆さんが応援し選ぶことです。

稲沢市で生産される農産物を地元で消費したり、地元事業者が製造した製品を地元が活用したりするなど地域内の経済循環を加速させる取り組みについて、市民に情報発信等に取り組み地域内消費を促進します。

3. 産業の活性化を推進するため若者や女性等の創業を支援。

社会環境が大きく変化していくなかで、産業の新陳代謝を図っていくためには、特に女性や若者の創業を促進し、民間活力を高めることで、雇用を生み出し、産業の新陳代謝を進めることが重要です。

稲沢市においても、中小企業・小規模企業の事業所数が減少するなか、地域経済の活性化、及び発展を図るためには積極的に創業を支援する必要があります。

中小企業振興ビジョン実現のための3つの柱

1：経営革新の促進、経営マネジメントの強化（経営革新グループ）

中小企業経営者が経営の基本を学ぶ場の開設

- 財務指標や労働法規など経営者として必要なことを学ぶ場をつくる。
- 経営指針（理念・ビジョン・方針・計画）の策定を推進し学ぶ場をつくる。
- マーケティングを学ぶ場をつくり戦略に活かす。
- 「カーボンニュートラル」や「SDGs」を学び自社経営に活かす。

中小企業や小規模事業者の事業の継続及び発展には、経営の改善、向上を図ることが必要である。また、販路拡大や資金調達、経営者の高齢化等に伴い、事業承継や技能の承継等が課題である。

取り組み（中小企業団体・稲沢市・大企業・金融機関）

- 資金調達の円滑化、経営の改善及び向上
- 新たな技術、製品等の開発、販路の開拓
- 事業承継、伝統的技術等の継承
- 農商工連携、産学金官連携
- 地域資源の活用

2：人材の確保・育成、多様な働き方の創出（地域人材育成グループ）

地域の若者を育て、地域に若者を残す

- 稲沢市の高校・大学と中小企業と行政が連携して「新しいキャリア教育」を実施する。
「新しいキャリア教育」を中学校や小学校の段階まで展開する。
学校教育の段階から地域の経営者が関わりをもち3者が連携して取り組む。
- 経営者自らの生き様とおして、生きる目的や働くことの意義、地域における中小企業の役割やその魅力などを伝える。
- 起業する意義や喜びなどを伝え起業家精神を養成する。
- 中小企業や小規模事業者が持続的に発展するためには、人材の確保、人材育成は不可欠です。
人材不足の解消に向けて、女性や高齢者、障害者など多様な人材が活躍できるようにする。

人材の確保、定着のために、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の取組を推進し、働きやすい職場環境の整備が必要とされています。

取り組み（教育機関・稲沢市）

- 市内の教育機関との新しいキャリア教育
- 人材確保・就労支援・人材育成
- 女性、高齢者、障害者等の多様な人材活用の推進
- 介護と仕事の両立支援の推進

3：地域資源の活用、発掘・地域資源のブランド化（地域資源発掘グループ）

特産品の企画・開発や製造、観光資源の磨き上げ

- 地場産品を新たな特産品として売り出すことで、地域産業の創出。
知名度の低い地場産品を活用・宣伝することで、地域資源のブランド化ができる。
- 地元企業同士の結びつきによる新規事業の創出によって、地域企業の活性化にも繋がる。
- 観光資源の活用では、国内外からの観光客誘致による地域経済の活性化が期待。
観光客の誘致によって交通整備などの受入環境整備が進んで、環境保全活動が盛んになれば地域住民へのサービス向上というメリットも得られる。
- 地域資源の活用は、他地域には真似ができないような模倣困難性が重要なポイント。
他地域と差別化を図ることによって、特有の付加価値が生まれ、稲沢を訪れる人が増える。

地域資源の発掘方法として、地域住民参加型のワークショップ開催によるアイデア出しなど地域住民に参画、アイデアを出してもらうことで、多彩な案が寄せられるとともに、地域住民のシビックプライドの醸成にも繋がります。

取り組み（稲沢市、観光協会、中小企業団体、教育機関等）

- 空き店舗等の活用促進
- 地域の課題を洗い出し、資源に変える
- 多くの市民を広く巻き込む
- 観光客や移住者の獲得、雇用の創出を維持可能な、サステナブルな仕組みづくり
- 市内の高校・大学との連携